

Vario E

No. 1452-0000 / No. 1452-1000

Bedienungsanleitung
Instruction manual • Mode d'emploi • Istruzioni d'uso
Instrucciones para el servicio
Инструкция по эксплуатации
取扱説明書 • 사용설명서



Renfert GmbH • Industriegebiet • 78247 Hilzingen
Germany • Tel. +49 7731 8208-0 • Fax +49 7731 8208-70
info@renfert.com • www.renfert.com
Made in Germany

Renfert

0806 21-9868 A

Vario E

No. 1452-0000/1452-1000

日本語

1. はじめに

Vario E ワックス加熱装置をお買い上げいただきまして、どうもありがとうございました。

長く、また問題のない機能を保証できるように、以下の説明文を注意してお読み下さるよう、お願いいたします。

2. 使用分野

Vario E ワックス加熱装置により、それぞれ独立した調整可能な3つの槽でワックスを事前加熱できます。

2.1 形成用ワックスに

Vario E ワックス加熱装置により、それぞれ独立した調整可能な3つの容器でワックスを事前加熱できます。

各温度設定により少量又は大量のワックスを容器から直接、電気形成具で、あるいは炎で形成具を温めた後に取り除くことができます。ワックスは多大な温度振れの影響を受けませんので、強度な収縮を防止することができます。これにより材料品質が保持されます。

技工士は安定したワックスを効果的にまた合理的に形成することができます。

2.2 ディップワックスに

Vario E をディップ装置として使用することもできます。この場合には深さ 14.5 mm (0.57 inch) の容器を用意して下さい。

2.3 光ワックスに

Vario E は 45 -110 °C (113 -230 °F) の温度域で光ワックスの加工にも非常に適切に使用することもできます。

2.4 周辺条件

EC 60664-1 に基づく)

以下の条件においてのみ Vario E を使用することができます：

- ・ 室内
- ・ NN 上高度 2000m まで
- ・ 周辺温度 5-40 °C (41-104 °F)
- ・ 31 °C (87.8 °F) で最大相対湿度 80%、40 °C (104 °F) で線減少しながら 50% まで
- ・ 電圧変動が定格値の 10% 以上にならない場合には、電力ネットからの電力供給
- ・ 汚染度 2
- ・ 過圧範疇

3. 危険指摘事項

3.1 使用シンボル

本取扱説明書及び本装置には以下のシンボルが記されています：



危険

直接負傷する恐れがあります。



電圧

電圧による危険がありません。



注意

本指摘事項を遵守しない場合には装置が損傷する恐れがあります。



指摘事項

操作に役立ち、取り扱いを容易にする指摘事項があります。



室内使用のみ。



本装置を開ける前に、電力を遮断し、プラグを抜いて下さい。

3.2 危険指摘事項

- ・ Vario E は危険が発生し得る電気装置です。本装置は専門工が国内規格との整合性を検査した後でのみ接続し、使用することができます。
- ・ 本装置の型式ラベルの表記と電力ネットの電圧を比較して下さい。
- ・ 装置の電気ケーブルが損傷している場合、又はその他の損傷が認められる場合には運転してはなりません。
- ・ 電源ケーブルは運転中は巻かれていない状態にして下さい（短絡時において過熱の危険）。
- ・ 液体のワックスにより火傷の恐れがあります。本装置は運転中は動かさないで下さい！
- ・ ワックス槽は運転中はその端部まで加熱します。これにより装置を不適切に取扱う場合に火傷の恐れがあります（遮断後 30 分間においても）。
- ・ Vario E は一般市場で求めることのできるデンタルワックスだけに使用できます。本装置にこれ以外のマテリアルは絶対に充填しないで下さい！
- ・ 注意して下さい：ワックス槽一杯に充填すると溢れる恐れがあります！
- ・ 引火点が 175 °C (347 °F) 以下のマテリアル / 物質は Vario E の近くに保存したり、Vario E に接触させるようなことはしないで下さい。
- ・ ウェットで洗浄したり、水に浸したりしないで下さい！

3.3 責任除斥

- レンフェルト有限会社は以下の場合には、損害賠償及び保証に関するいかなる請求にも応じることができません。
- ・ 取扱説明書に記されている目的以外に本装置を使用した場合
 - ・ 本装置に何らかの変更を加えた場合。取扱説明書に記す変更はここから除外します。

- ・ 専門工以外の者が本装置を修理した場合、またはレンフェルト社のオリジナルのスペアパーツ以外の部品を使用した場合。
- ・ 安全上の欠陥があることが明白にもかかわらず、本装置を続けて使用した場合。
- ・ 本装置に機械的衝撃を与えたり、落とした場合。

4. 操作エレメント

(写真 1a + 1b)

- A) 入力 / 遮断スイッチ
- B) 加熱槽選択ボタン
- C) 選択加熱槽 LED 表示
 - >> 操作表示 = 緑
 - >> 加熱時 = 赤
- D) 設定温度用プラスボタン 増加
- E) 設定温度用マイナスボタン 減少
- F) 設定 / 実測値 温度表示
- G) 加熱槽
- H) 蓋
- I) 電源ケーブル

5. 始動 / 操作

5.1 入力

1. Vario E / コンセントを接続して下さい (写真 2)。
2. 蓋 (H) を開けて下さい。120 ° アングルでロックすることができません (写真 3)。
3. 処理するワックスを加熱槽に入れて下さい。
 - **注意：加熱槽は過剰に充填しないで下さい！加熱槽上端回りの刻み目は充填高さの最上限を示しています。**
4. スイッチ (A) で Vario E を入力して下さい (写真 4)。
5. 表示 (F) に最後に設定された温度単位 C 又は F が約 2 秒間表示されます。
 - C = 摂氏 (写真 7a)
 - 又は
 - F = 華氏 (写真 7b)
6. これに引き続き表示 (F) に最後に選択した槽の最後に入力した設定

温度が約 2 秒間表示されます。選択した槽は LED (C) でシグナル化されます。

- 最後に表示 (F) が最後に選択した槽の最新の実測温度を表示します。選択した槽は LED (C) でシグナル化されます。

5.2 温度単位 °C 又は °F の設定



指摘事項：

メーカ工場で230V 装置は、C に、120V 装置は、F にそれぞれ設定されていることに注意して下さい。

- Vario E が入力している場合には、スイッチ (A) を切ってください。
- ボタン (B) を押し続け (写真 5)、同時に Vario E のスイッチ (A) を入れて下さい (写真 4)。
- 表示 (F) には温度単位 C と F が交代でそれぞれ約 2 秒間表示されます (写真 7a + 7b)。必要な温度単位が表示されたならばボタン (B) を離して下さい。
- 最後に表示された温度単位は保存されます。

5.3 設定温度の設定

- ボタン (B) で加熱槽を選択して下さい (写真 5)。
- 選択した加熱槽のダイオード (C) が点灯します (赤又は緑) (写真 6)。
 - ・加熱槽 右
= 発光ダイオード 右
 - ・加熱槽 中央
= 発光ダイオード 中央
 - ・加熱槽 左
= 発光ダイオード 左
- 表示 (F) にまず設定温度が約 2 秒間表示されます、これに引き続き実測温度が表示されます。
- ボタン (D+) または (E-) を押しと表示 (F) が現在設定されている設定温度に変わります (写真 9 + 10)。
- 必要な設定温度はボタン (D+) 又は (E-) を再度押しと設定されます (設定域: 45-110°C 又は 113-230°F)



= 温度上昇



= 温度低下

45 °C (113 °F) の値でマイナスボタンをもう一度押しと、加熱槽のスイッチが切れます (OFF 表示)。プラスボタンを押すと加熱槽が値 45 °C (113 °F) で再び入力します。設定温度を 110 °C (230 °F) より高く設定しようと試みる場合には、表示 (F) で 110 (230) の値が点滅します。

- 約 2 秒後に表示 (F) が選択された槽の実測温度に自動的に変わります。選択した加熱槽の設定温度に達すると、これに相当する LED (C) は赤から緑 (写真 13) に変わります。事後調整時には LED (C) は繰り返し赤になります。



指摘事項：

個々の槽及び最後に選択された槽の設定温度は、設定温度の最後の変更が少なくとも 4 秒前になされている場合には、スイッチ遮断後又は電力供給中断後にも保存されます。入力後又は電力供給中断が解除された後に Vario E は再度、事前保存された運転状態に戻ります。

指摘事項 / 実務上のヒント：

- ・不透明のワックスは使用中に Vario E 内で分解する場合があります。作業開始前にワックスをツールで短時間攪拌して下さい。
- ・ワックスは本装置入力直後に最も容易に交換することができます。ワックスが外側の層で溶解している場合には、ワックスシリンダーは簡単に取り除くことができます。
- ・クラウン端部を削る場合には Vario E の容器端部はツールを温めるために非常に適切になります (直火で生じるような熱すぎ)

るツールではありません)。ツールは数秒間、手頃な暖かさになり、ワックスクラウン端部の処理に最良なものになります。

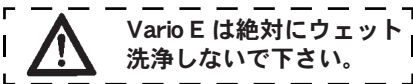
- Vario E ヘツールを迅速にディップ = 大きなワックス滴; ゆっくりディップ = 小さなワックス滴
- ワックスの迅速な溶解を確実にするために、蓋は加熱時には閉めておいて下さい。
- Vario E 内で液体ワックスをワックスレトリックで処理する場合、溶解に必要なエネルギーが無くなりますので、電気ワックスナイフの作業温度を十分に下げることができます。

ディップに関する指摘事項

- プリパレーションリミットを越えて迅速にディップして下さい。
- 残根をワックスからゆっくりとまた一様に持ち上げて下さい。
- 余分なワックスが流れ出るよう、残根先端部が出る直前に止めて下さい。

6. 清掃 / メンテナンス

Vario E はメンテナンスの必要がありません。柔らかい、湿った布で時々清掃して下さい。溶剤及び洗剤は使用しないで下さい!



冷却したワックスの残りは本装置が遮断している際に慎重に削り取ることができます。

本装置の表面をヘアドライヤーで少し温めると、清掃が容易になります。

Vario E の蓋は取り外すことができ、汚れた場合にはスチームをスプレーして簡単に清掃することができます。

7. 交換部品

交換部品は添付の交換部品リストで調べて下さい。

8. 保証

本装置を適切に使用する場合、レンフェルトは Vario E に 3 年間の保証をいたします。自然消耗部品はこの保証から除外されます。

不適切な使用及び取扱、清掃、メンテナンス、接続規定の違反、自分で修理する場合、あるいは専門工でない者が修理する場合、他のメーカーの交換部品を使用する場合、異常な、あるいは使用規定では許容できない影響による作用時には本保証は無効となります。保証履行による保証期間の延長はありません。

9. 技術仕様

最大能力: 85W
最低作業温度:
45 °C (113 °F)
最高作業温度:
110 °C (230 °F)
電圧:
230V/50-60Hz
120V/50-60Hz

寸法 (幅 × 奥行き × 高さ):
178 × 120 × 54mm
(7.01 × 4.73 × 2.13 inch)
重量: 約 658g

10. 納入範囲

1 Vario E ワックス加熱装置
1 取扱説明書
1 交換部品リスト

11. 付属品

**レンフェルトは以下の付属品
を推奨いたします。**

電気ワックスナイフ

**ワックスレトリック11ハンド
ピース及び1形成セットを含む**

No. 2139-0000	230V
No. 2139-1000	120V
No. 2139-2000	240V

ワックスレトリック II 2 ハンド ピース及び 2 形成セットを含む

No. 2140-0000	230V
No. 2140-1000	120V
No. 2140-2000	240V

GEO アバンギャルド 形成ワックス:

No. 495-0100	ユニバーサル、ベージュ不透明、75 g
No. 495-0200	ユニバーサル、グレー不透明、75 g
No. 495-0300	ユニバーサル、ミント不透明、75 g
No. 492-0100	咬合、ベージュ不透明、75 g
No. 495-0200	咬合、グレー不透明、75 g
No. 495-0300	咬合、ミント不透明、75 g

GEO 特別ワックス:

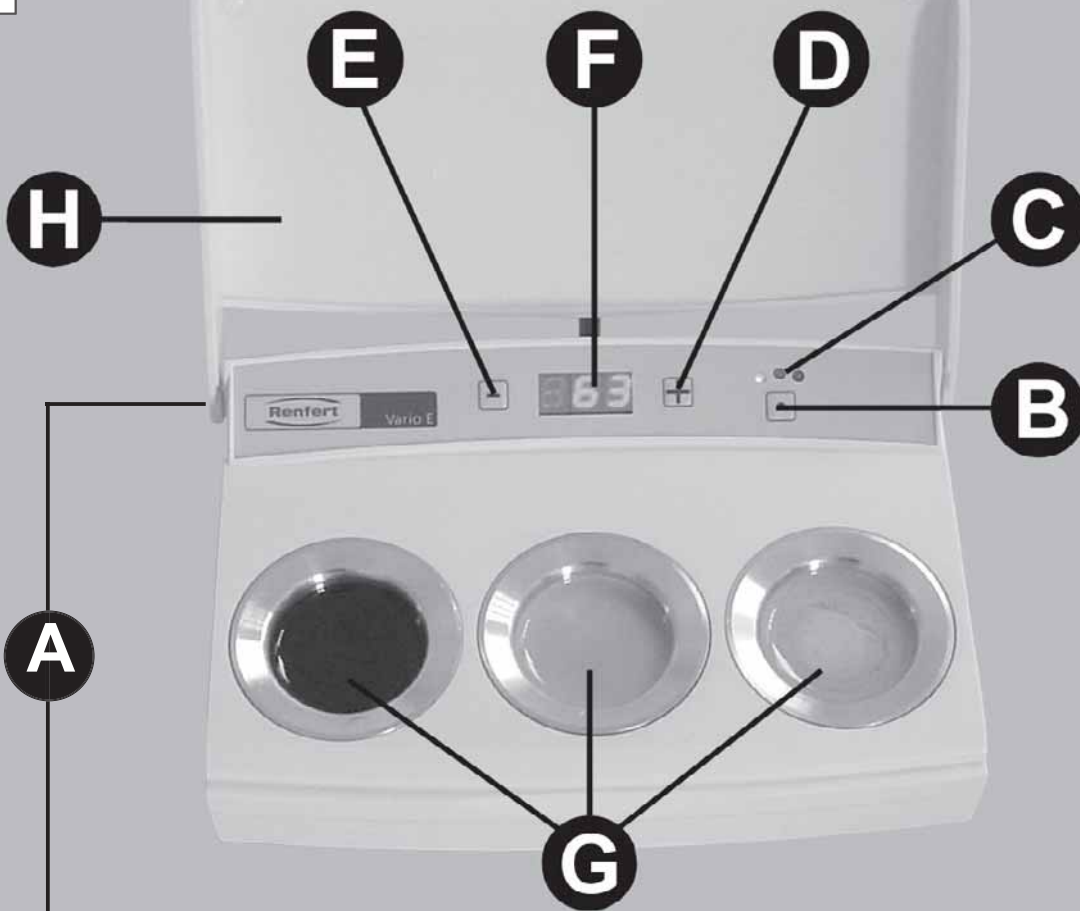
No. 486-1000	GEO 歯頸側ワックス 赤透明、75 g
No. 489-1000	GEO 下支えワックス 赤透明、75 g
No. 485-1000	GEO フライスワックス 青不透明、75 g
No. 650-1000	GEO アウトブロックワックス ピンク不透明、75 g
No.488-1000	GEO 接着ワックス ピンク透明、75 g

その他のワックスについてはレンフェルト製品カタログ又は
www.renfert.com を参照して下さい。

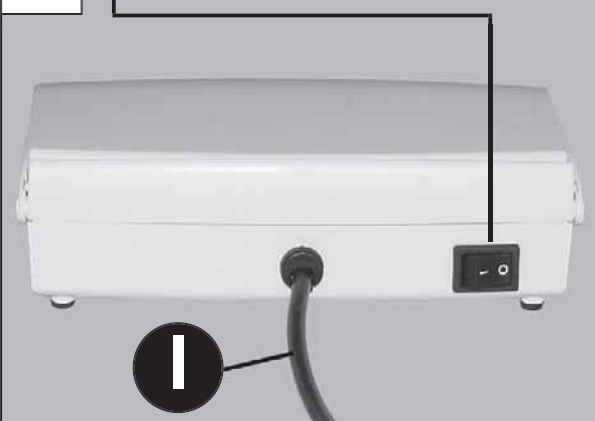
12. 欠陥リスト

欠陥	原因	対策
装置のスイッチ (A) を入力したにもかかわらず表示がない / 機能しない	<ul style="list-style-type: none">・電気の中断・温度ヒューズの欠陥・装置ヒューズの欠陥	<ul style="list-style-type: none">・電源とケーブルを点検・サービスによる交換・サービスによる交換
装置は機能するが、温度が生じない	<ul style="list-style-type: none">・サーモセンサーの欠陥・ヒーティングの欠陥	<ul style="list-style-type: none">・サービスによる交換・サービスによる修理
装置再入力後に最終パラメーターが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">・パラメータ変更直後に装置を遮断した。	<ul style="list-style-type: none">・4 秒後に最終値が保存されるので、遮断前にボタンインパルスなしで 4 秒間待つ。

1a



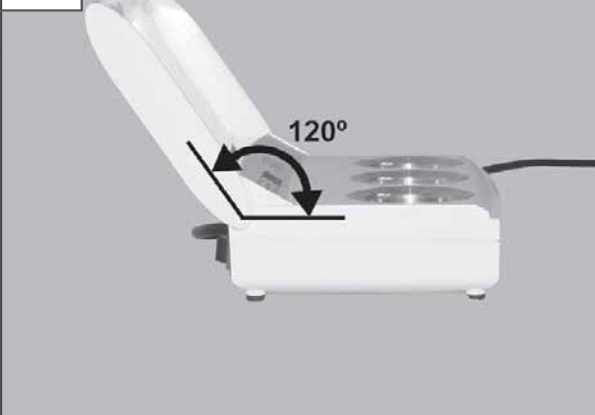
1b



2



3



4

